

# 緑の地球

## GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



1月27日の自然と親しむ会で大阪市立大学理学部附属植物園を訪れ、台風で倒されたユリノキの根を観察した。

### Contents

- 第25回総会のお知らせ ..... P 2
- 張家口探鳥ツアーのご案内 ..... P 3
- 大同緑化25年の軌跡 ..... P 4
- 西伊豆5月合宿のご案内 ..... P 7

2019.3  
186

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク



# 緑の地球ネットワーク 第25回総会のお知らせ

いつも緑の地球ネットワークにご協力いただき、ありがとうございます。2019年度の総会のお知らせです。

うれしいことに今春のスタディツアーは参加者が20名を超え、4月6日に出発します。蔚県の代王城鎮で植樹をおこなうほか、子供たちとの交流な



ど、顔の見える緑化協力を進めていきます。

2019年度も張家口市蔚県での緑化協力をおこないます。新たな取り組みとして6月に張家口探鳥ツアーを予定しています。高田直俊さん、大西敏一さん2名の野鳥の専門家にご参加いただき、現地の野鳥調査をおこないますので、ご参加をお待ちしています。

国内では引き続きGEN自然と親しむ会を開催するほか、東北海岸林再生活動は2019年度もゆりりん愛護会と協力し、植樹祭に参加します。GEN関東ランチは西伊豆での取り組みを継続し、今後も充実をはかります。

今回総会の記念講演には、昨年11月の中国での野鳥調査にご参加いただいた高田直俊さんにお話しいただきます。高田直俊さんは長く淀川環境委員会委

員を務められ、湿地や野鳥の保護に造詣が深い方です。今回は蔚県での新しい取り組みについてお話していただきます。

年に1度の総会、会員のみなさんと思いを共有し、GENの今後の活動について意見を交換したいと思いますのでぜひご参加をお待ちしています。会員のみなさまにはあらためてご案内をお送りします。

\*\*\*\*\*

### 【緑の地球ネットワーク第25回総会】

- 日程：2019年6月8日（土）13時30分～16時40分
- 会場：大阪産業創造館5階 研修室A・B（大阪市中央区本町1-4-5 tel.06-6264-9911 大阪メトロ中央線・堺筋線「堺筋本町駅」1番出口より徒歩5分）
- 記念講演：13時30分～15時
- 講師：高田直俊さん（大阪市立大学名誉教授）
- 総会：15時20分～16時40分
- 総会終了後に懇親会を予定しています。

阪府泉佐野市上之郷90番地 tel.072-467-2491

○集合：10時45分に泉佐野丘陵緑地パークセンター前（南海電鉄泉佐野駅前10時20分発、JR日根野駅前10時36分発のいずみさの観光周遊バス（無料）に乗ると、10時45分に「泉佐野丘陵緑地パークセンター」に到着します）

- 案内：前中久行さん（GEN代表）
- 参加費：500円（保険料を含む）
- 定員：20名程度
- ※小雨決行

自然観察を楽しみます。春の草花やヤマザクラのお花見も期待できます。ぜひご参加ください。

○日時：3月31日（日）10時45分～14時ごろ

○場所：大阪府営泉佐野丘陵緑地（大



2016年春に自然と親しむ会参加者が園内の棚田に植えた黄花菜はきれいな花を咲かせています。



参加者募集

## 張家口 探鳥ツアー

### 野鳥の専門家と訪問する4泊5日の旅にご参加ください 2019年6月15日（土）～19日（水）

緑の地球ネットワークが2017年から新たに協力をはじめた河北省張家口市蔚県は、壺流河に沿って二つの湿地公園が建設されています。ひとつは蔚県壺流河国家湿地公園（1740ha、延長58km）。もうひとつの玉壺湿地公園（155ha）で、わたしたちはここに蔚州郷土樹木園（7.5ha）という樹木見本園を建設します。

湿地公園建設の重要な目的が鳥類、なかでも渡り鳥の保護です。蔚県は広大な乾燥地のなかにあり、このような湿地は特別な重要性をもちます。

蔚政府の求めで2018年11月に最初の鳥類調査に取り組みました。今年は6月と10月の2回、実施することになっています。

ここではこれまでに十分な調査がおこなわれたことがなく、データが不足しています。昨年11月の調査でも、現地のリストにない種がたくさん見つかりました。湿地公園の建設が鳥類保護にどのような効果をもたらすか、評価のための基礎を築く重要な第一歩になります。またこの活動によって、現地に鳥類の愛好者をふやしたいと考えて

います。

第1回の調査にあたってくださった高田直俊先生（大阪市立大学名誉教授・淀川環境委員会委員）、大西敏一先生（バードコンサルタント・『日本の鳥類650』（平凡社創業100周年記念出版／著者）にひきつづきご参加いただき、データの充実をはかります。

また、ミミキジの棲息地として知られる小五台山自然保護区にも足を伸ばすことにしています。

蔚県の湿地保全・鳥類保護の最初の一步を、ごいっしょに踏み出しませんか。

- 日程：6月15日（土）～19日（水）4泊5日
- 訪問地：中国河北省張家口市（北京経由）
- 費用：207,000円  
※国際航空運賃、空港使用料、国際観光旅客税、中国国内の交通費／食費／宿泊費を含みます。旅券取得の費用、海外旅行傷害保険、燃油特別付加運賃、個人行動時の費用は含みません。GEN年会費（一般＝12,000円、学生＝3,000円）が別途必要です。  
※関西空港発着（中国国際航空利用）または羽田空港

- 発着（日本航空利用）
- 定員：20名程度
- 最少催行人員：6名
- 添乗員：同行しません。GENスタッフが関西空港から同行します。
- 参加ご希望の方はGEN事務所までご住所、お名前をお知らせください。資料は（株）マイチケットから発送します。
- 申込締切：5月8日（水）

参加者募集

## 2019 黄土高原 スタディツアー 予告

8月のスタディツアーの日程が決定しました。今年は蔚県と大同を訪問します。蔚県にも大同にも訪問できるお得なツアー、この機会にぜひご参加ください。

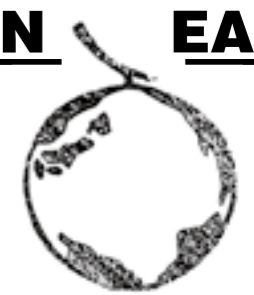
- 日程：2019年8月24日（土）～30日（金）（6泊7日）
- 訪問地：中国河北省張家口市蔚県、山西省大同市（北京経由）
- 費用：未定

- 定員：30名程度
- 最少催行人員：12名
- ※詳細は5月号でご案内します。



## GEN事務局 からお願い

春は新しいスタートの季節です。進学や就職、転勤等でこの時期にお引越されるかたも多くおられるかと思えます。住所変更、メールアドレス等の変更がありましたらGEN事務所までご一報くださるようお願いいたします。



# 大同緑化協力 25 年の軌跡

## 近くて遠きは田舎の道

GENの山西省大同市での25年の緑化協力を振り返り、当時の写真も交えてシリーズでご紹介します。今回で13回目です。(高見邦雄)

1998年7月、李向東さんは出会ったばかりの私たちに「自然林がみつかった！ こんな大木がある」といって一抱え以上のジェスチャーをしました。そのころ私は「信じるのは自分の目だけ」が信条でしたので、「遠いのか？」と尋ねると、「遠くない。二里だ」というのが彼の返事。中国の一里は500mですからたった1km。すぐにでかけました。

上寨鎮雁翅台がふもとの村で(南天門自然植物園への道をさらに西にいきます)、そこからは歩きです。午後の出発ですぐに暗くなりましたから諦めました。翌日も向かいましたが、たどりつけません。村の人の「不遠！ 二里。好走！」という言葉に励まされますが、つぎに出会った人も同じ返事。どこまで行っても「二里」です。でも、自然林の存在が確信できたのは、山のうえから60kgものタキギを背負った老人が走り降りてきて、そのなかにナラ、カンパなどの枝が混じっていたからです。「あの山を越えてもう一つ先の山」ということですから、また諦めざるをえません。

4回目だったでしょうか。弁当を用意してもらい、朝暗いうちに出発し、雁翅台村から歩きました。大きな石のごろごろした河川敷を歩き、灌木のブッシュを藪こぎし、急斜面のアップダウンをくりかえし、私たちの足で4時間余りをかけてたどりついたのです。河



やっとたどり着いた自然林

北省との境界から5km余りの碣寺山(1768m)の山頂付近に、ナラ、カンパ、シナノキなど落葉広葉樹の自然林が広がっていました。

立花吉茂先生は「ぎーっとみただけで、喬木20種、灌木40種、草100種はあるでしょう」といって足を速めます。遠田宏先生は「日本の東北の山と似ていますね。種はちがっても、属のレベルでは共通しています」。林床に分厚く落ち葉がたまり、その下に黒い森林土壌が発達しているのが印象的でした。

この年の春、立花先生に「念願の植物園をつくるのは霊丘県の南山区だな。あそこがいちばんいい」といわれ、私がそのことを李向東に伝えると、彼はあちこち探し回ってくれたのです。そしてあの山の中腹にある村で、山頂

付近にりっぱな林ができていたとき、あの山をみつけたのだそう。

それにしても、私たちを苦しめたあの「二里」はなんだったのでしょうか。大同の友人のなかには「中国には大里と小里があり、農村では大里をつかう」と話した人もいましたが、さほどのことではないよう。幕末の日本を歩いたアーネスト・サトウは、農村で道をきいては返ってくる「半里」に苦しめられたそうです。日本の一里は4kmですから、半里は2km。

立花先生はこの話になると「近くて遠きは田舎の道。遠くて近きは〇〇〇〇」と答えておられました。後半の〇〇〇〇は「男女の仲」だそうです。そこの微妙なところは経験の乏しい私にはわかりません。



立花吉茂代表

## マイチケットのネットテレビに GEN が出演

GENの黄土高原スタディツアーを取り扱っている旅行社のマイチケットがホームページで「マイチケットとつくるネット番組 もうひとつの旅のフォーラム」というネット番組を配信しています。いろいろなNGOのスタディツアーや活動内容を紹介しているものです。

このたびGENの活動紹介の番組を作成してもらいました。「緑の地球ネットワーク 中国黄土高原」というタイトルで、東川事務局長とGENツアーに参加したマイチケットスタッフの白川千尋さんが出演しています。1本10分～15分程度で3本あります。以下のURLにアクセスするとご覧いただけます。

パート1: <http://myticket.jp/movie/7742>  
パート2: <http://myticket.jp/movie/7744>  
パート3: <http://myticket.jp/movie/7746>  
ネットテレビですのでパソコンやスマホからいつでもご覧いただけます。お時間がありましたら、どうぞご視聴ください。



マイチケットとつくるネット番組 もうひとつの旅のフォーラム

黄土高原史話<92>

## 北魏つながりということ (下)

谷口 義介 (GEN 会員)

アル中で狂死した①文宣帝(高洋)、クーデタにより廃された②高殷、馬から落ちて死んだ③孝昭帝(高演)のあと、561年、急遽即位したのが北齊4代目の武成帝(高湛)。実質上、北齊を建てた高歓の第9子で、文宣帝からすると孝昭帝ともども異母弟にあたる。

この武成帝、母こそ違え兄・文宣帝と同様の惑乱天子。ただし、耽溺したのは酒ではなく、スゴロクだった。『北齊書』巻50恩倖伝によると、

世祖〔武成帝〕性握槊を好み、〔和〕士開この戯を善くす。

と。握槊とは「すごろく」の一種。武成帝の皇后もこれを好んだというから、面白いゲームだったのだろう。また、和士開は「能く胡の琵琶を弾ず。此に因りて親狎」した、と。『北史』巻8

齊本紀(下)に、

〔武成帝〕庸豎を愛狎し、委ねるに朝権を以てす。帷薄の間、淫侈度を過ぐ。〔北齊〕滅亡の兆し、これ斯に在るか。

とみえる「庸豎」とは、和士開のことにはほかならない。

この和士開。西域からやってきた商人の子孫で、上引の『北齊書』巻50は恩倖(卑しい身分から引き立てられた

者)の代表格とみなしている。同書に、刑残の閹宦、蒼頭の盧兒、西域の醜い胡、龜茲の雑伎の、王に封ぜられし者は武(暉)を接し、府を開きし者は肩を比ぶ。

と、宦官・奴隸、西域の胡人、クチャ出身の雑芸人を恩倖に含め、そのなかには高位・高官にのぼる者も多かった、と述べている。「西域の醜い胡人」とは、具体的には和士開を指している。その家には、「富商大賈、朝夕に門を填む」という。北齊の都鄴は商業がすこぶる盛んで、ソグド人などの西域商人が幅を利かせた。スゴロクと琵琶によって引き立てられた「恩倖」和士開の背後には、じつは西域系の商人がいたのである。

前々回と前回で述べたように、北齊の政治は、(A)北族系武人グループと(B)漢人貴族官僚グループの対立・抗争に終始したが、ここに至って新たに(C)恩倖・政商グループが登場する。政界は、三つ巴の闘争の場と化したわけだ。

はじめ漢人貴族の祖暉は帝権の強化を目論んで、565年、武成帝が太上皇帝(上皇)となり、太子高緯に譲位して、和士開が二代にわたってこれを支える

よう画策。この案が通って、⑤後主が即位。上皇は568年に没したが、和士開はまわりに(C)グループを集めて、権勢はますます盛んだった。

ところが、571年、(C)グループの勝手放題に(A)グループが反発し、クーデタを起して和士開を殺す。この事態に祖暉は(C)グループと連携し、後主を動かして、(A)グループの弾圧に踏み切らず。しかし、このとき名将斛律光まで殺してしまったのは大誤算。それというのも、対立する西方の軍事強国・北周の侵攻を防いでいたのは、唯一この人物だったから。

ともあれ(A)グループの排除に成功した祖暉は、自らの(B)グループを結集して、今度は(C)グループとの対決に乗り出した。もともと彼の目的は、(C)グループの打倒にあったのだ。ところが573年、(B)グループは敗北し、祖暉は失脚・病死して、(B)グループのほとんどは殺された。あとには、ただ(C)グループによる専権と乱脈が残るのみ。

576年、このような北齊の混乱と衰弱を見越し、北周の武帝(宇文邕)は全軍に進撃を命令する。

## 「テレビ見ました！」寄せられた感想

前号でお知らせしたGENの活動取材したNHK-World-Japanの番組「side by side」が放送され、たくさんの方に見ていただきました。感想の一部をご紹介します。番組を見逃したり、再度ご覧になりたい場合はNHK-World-Japan On Demand(有料)より過去の放送をご覧いただけます。

- 見ましたよ！かの国もわが国も「上の」人たちにはろくでもない人がいますが「ひらば」での交流、共同活動、高見さん長いこと頑張ってやってきましたね！ 感動！
- 良い番組でしたね、私ももう10年前になりますが、ずいぶん緑も増えて嬉しいですねえ。

- 録画して見ました。ところどころに見たことのある景色や人が出てきて、なつかしく思いました。
- 高見さん、見ましたよ。碑に書かれていた「普通日本人」に感動しました。最高の誉め言葉であり友情です。
- 秘蔵のマオタイ酒で乾杯したシー

ンには本当に心が揺さぶられました。報われるべき苦勞があり、そしてまさに報われる、いいですね！

- ハガキ拝読しました。ネットも見ました。とてつもなく凄いことをやって来られたことにただ頭が下がります。そして感動しました。
- 番組拝見しました。立派な森林が育っていることに感動しました。すごいことですね。ただただ、頭が下がります。
- 見ました。色々なことがよみがえりました。堂込さんがでていることも驚き、嬉しかったです。中国語の勉強を再開したところなので、何度もじっくり味わいたいと思います。



### 冬の植物園で自然観察

内藤 紀雄 (GEN 会員)

1月27日、GEN 自然と親しむ会 前中代表と歩く「野の道」シリーズ⑨が行なわれ、大阪市立大学理学部附属植物園を訪問しました。19名が参加しました。

当日は降雪が心配されましたが、私市についてみると晴れて気温もそれほど寒くなく、自然観察には向いたお天気でした。小さなお子さんも一人参加で、みなさん優しく見守っていました。

大阪市立大学理学部附属植物園は、駅から歩いて5分ほどで、入口の前には土砂の排出で有名な天野川が流れています。園の入り口に掛かる橋からは護岸工で固められた川が眺められます。GEN 前代表の立花先生が園の整備に携わってこられたところでもあります。

観察会は、入口のすぐ横に続くサザンカの赤い花の観察から始まりました。栽培種で赤い花が集まって咲くようになっていきます。みなさん前中先生の説明を聞きながら、園内をめぐって歩き

ます。イヌツゲの木の植え込みのすぐ横にツゲの木も植えてあって両方の木の比較ができるようになっていて、前中先生の解説によると、葉のつき方の違いで二つの種を見分けることができました。

9月の台風21号に吹き倒された寝返りの樹が園内のあちこちに残っていて普段は出来ない樹木の根の部分が観察できます。地下の根の深さは地上部が30mはある樹でもせいぜい2mほどで、横には地上部の枝の広がりと同じぐらいの広さに広がっていることが観察できました。ここで有名なメタセコイアも1本30mほどもある樹が吹き倒されていました。ラクウショウは湿

地を好み、気根を伸ばす様子も観察できました。台風の被害はひどかったようで、園の奥へ続く道はことごとく立ち入り禁止の札が立っていて入れなくなっていました。メタセコイアは化石しかないと思われていた幻の樹で、故三木茂園長が生きた樹を発見して、生きた化石として有名になった樹です。今ではクローンがあちこちに配られて育てられるようになっています。観察会は午後3時ぐらいに園内を一周して終了となり、参加者は帰途につきました。



## いままぐできる GEN への協力

#### ■会員の輪をひろげよう!

緑の地球ネットワーク会費 (年額)	
一般会費	12,000 円
家族会費 (同居の家族 2 人目から)	6,000 円
学生会員	3,000 円
ジュニア会員 (中学生以下)	1,000 円
団体会員	12,000 円
賛助会員	100,000 円

※会費は会報購読料を含んでいます。  
■会報を購読してください!

GEN の活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読していただませんか。年間購読料 2,000 円。

#### ■緑化基金、運営寄付もとむ

金額は自由です。また、緑化基金、運営寄付の別を問わない使途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

\* 緑化基金の 20% は事務管理費になり

ます。

#### ■絵はがき『黄土高原の花』

8 枚組・300 円 (送料別途。5 セット以上送料無料)

#### ■書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

#### ■未使用切手・古切手を集めています

普通切手、記念切手、外国切手なんでも OK。古切手は周囲を 1cm ほど残して切り取ってお送りください。

#### ■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。参加可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときに GEN から連絡します。

\* \* \* \* \*

#### 【GEN への寄付は税制上の

優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは大阪市に認

定された認定 NPO 法人です (期限は 2019 年 4 月 8 日まで、更新審査中)。

個人による GEN への寄付は、税額控除あるいは所得控除を受けられます。対象となるのは 2,000 円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業からの寄付金は一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また、個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定 NPO に寄附すると、相続税の課税対象から除外されます。

GEN の場合、寄付金となるのは緑化基金、運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち 1 口を超える部分、賛助会費から 12,000 円を引いた金額です。

また、大阪府民、大阪市民のかたには個人住民税の控除もあります。

くわしくは GEN までご連絡ください。

#### 参加者募集

### GEN 関東フランチ 西伊豆 5 月合宿

5 月の西伊豆は、山々の照葉樹に新しい葉が繁り、光り輝いています。

関東フランチはこの地でシカの食害と強酸性という難問に挑戦する芝山 (硅石採掘跡地) の緑化に取り組み、少しずつ成果が見え始めています。

現地で活動する地域おこし協力隊メンバーとの交流会なども、現在調整中です。ぜひ、ご参加ください。

○日時: 5 月 10 日 (金) 夕方 ~ 12 日 (日) 昼ごろ

○場所: 静岡県賀茂郡西伊豆町宇久須

※交通費は自己負担。

以下は東京からの交通手段です。

- 1) 高速バス (新宿 - 修善寺) + 路線バス
- 2) JR 東海道線 (東京 - 三島) + 伊

豆箱根鉄道 + 路線バス

3) 自家用車 (東名沼津インターから 1 時間半) 駐車料金不要

中部、関西方面からは清水 - 土肥のフェリーを利用する方法もあります。

○費用: 大人 8,000 円、大学生・院生 7,000 円、中高生 6,000 円、小学生以下無料 (宿泊費、食費、期間内の交通費を含みます)

○宿泊先: GEN 関東フランチ宇久須 舎



○内容: 5 月 10 日 (金) 17 時集合。

カネジョウ (海鮮 BBQ) で結成式 5 月 11 日 (土) 午前 芝山での緑化プロジェクト成果の観察。昼食 牧場の家でお弁当。午後 実生のシキミ苗の採取、シキミ苗の鉢上げ、アセビ、シキミの挿し木 5 月 12 日 (日) 午前 エビイモの植え付け、サツマイモの挿し床づくり 昼頃に現地解散 ※変更の可能性あり

○申し込み・問合せ: 上田信まで電子メールで (ueda@rikkyo.ac.jp)

★メールの件名を「西伊豆合宿」としてください。人数と代表者の携帯電話番号を明記してください。

○申込み締切: 2019 年 4 月末日

### 共生の森植樹祭に参加しました

3 月 9 日、第 16 回共生の森植樹祭に参加しました。堺第 7 - 3 区にある共生の森は、産業廃棄物の埋立地に木を植えて多様な生き物が住む森にしようという取り組みです。実は今年の植樹祭は当日、南海電車の中にリュックを置き忘れ、慌てて難波駅に引き返したため参加できなかったという苦い経験があり、今回 1 年越しの念願がかなって参加しました。GEN からは 4 名が参加しました。

植樹祭当日は晴天に恵まれ、気温もあたたかく絶好の植樹日和でした。運営の方の話によると昨年の台風の影響もあり規模は縮小したそうですが、それでも約 300 人が集まり、にぎやかに植樹が行なわれました。少人数のグループにわかれ、事前に用意されていたスダジイ、ヒメユズリハなどの苗木を植えました。

植樹のあとはうどんが振舞われ、青空の下であつあつをおいしくいただきました。

昼食のあとはこれまでの植樹エリアの見学や野鳥観察などが行なわれ、無事に終了しました。

日ごろの運動不足がたたき、筋肉痛になりましたが、植えた苗の今後の成長が楽しみです。(河本)



### 古切手・外国コイン テレカ等寄付報告

日頃、古切手や書き損じはがきの回収にご協力いただき、どうもありがとうございます。

2018 年度、これまでにお送りいただいた書き損じはがきは、6,200 円相当のミニレターに交換して通信費として活用しました。また、古切手・外国コイン等は、換金し、29,590 円になりました。緑化基金として活用します。

未使用切手による寄付は 37,972 円になりました。たくさんのご協力、どうもありがとうございました。

みなさまのお宅で使わずに眠っている古切手、外国コイン、書き損じはがき、テレホンカード (未使用のもの) 等ありましたら GEN まで送っていただくようお願いいたします。



第29回  
自然観察インストラクター  
養成講座

地域で身近な自然観察会をひらくためのボランティアリーダーを養成する講座です。

- 日程:4月6日(土)～11月23日(土) 全27回
- 講師:石井実氏(大阪府立大学副学長)、佐藤治雄氏(大阪府立大学名誉教授)ほか
- 参加資格:18歳以上。身近な自然を守るために何かやりたいと考えているかた。原則としてすべてのプログラムに参加できるかた。
- 受講料:29,000円(教材費、保険料を含む。宿泊講座の宿泊費・食費等は別途必要)
- 定員:20名(先着順)
- 講座会場:大阪市立中央区民センター 水曜日の19時～21時(地下鉄御堂筋線・中央線「堺筋本町」駅より徒歩2分)、野外講座は公園等で9時30分～16時。
- 申込み方法:ハガキまたはe-mailに氏名(フリガナ)、性別、年齢、住所、電話番号を明記し、下記まで。
- 主催・問合せ・申込み:(公社)大阪自然環境保全協会 自然観察インストラクター養成講座係(〒530-

\*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。  
\*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202 tel.06-6242-8720 fax.06-6881-8103 e-mail:inst@nature.or.jp)

森林ボランティアリーダー養成講座  
森林大学  
第35期生募集

- 日程:4月10日(水)～10月2日(水)(全19回)
- 内容:▼講座:19時00分～20時45分大阪産業創造館にて▼野外実習:いずみの森(泉佐野市)、少年自然の家(貝塚市)、箕面国有林、金剛山活動地ほか
- 講師:滝口敏行氏、山崎春人氏(森林インストラクター)山本博氏(林業技士)、森林大学OBほか
- 受講料:35,000円(野外実習の交通費、宿泊費が別途必要)
- 定員:30名(18歳以上)
- 申込み・問合せ:4月8日までに下記まで NPO法人日本森林ボランティア協会(〒530-0013 大阪市北区茶屋町2-30 tel./fax.06-6376-8255 http://www.npomori.jp e-mail:mori@npomori.jp)

ハッピーアースデイ  
大阪2019

ハッピーアースデイ大阪は楽しく地球のことを考えるイベントです。地球と体にやさしいお店や手作り体験ブースが並びます。

- 日時:3月23日(土)11時～17時 3月24日(日)10時～16時
- 場所:久宝寺緑地修景広場周辺 JR関西本線・大和路線「久宝寺駅」より北へ徒歩10分、近鉄大阪線「久宝寺口駅」より西へ徒歩15分
- 会場では環境に配慮し、使い捨ての食器ではなくリユース食器の使用を推奨しています。来場の際はマイ箸、マイ食器をお持ちください。
- 主催・問合せ:ハッピーアースデイ大阪実行委員会 URL http://www.happy-earthday-osaka.jp/
- 共催:都市公園久宝寺緑地指定管理共同体
- 後援:大阪府/大阪市/東大阪市/八尾市/八尾市教育委員会/八尾市社会福祉協議会

お知らせ

毎年3月号に田中農園さんのポンカンの案内を掲載していましたが、今年是不作のため出荷できないとのご連絡をいただきました。今回は残念ですがまたの機会にご注文ください。